

広報誌



ねこ

令和6年1月号

発行責任者

社会福祉法人 東京援護協会
東京高次脳機能障害者支援ホーム
☎042-497-3980

施設長 相良 宏司



相良施設長



完成予定図

新築について

11月10日（金）の入札により、(株)三浦工務店が新築工事を請け負うことになり、12月11日（月）には地鎮祭を行い着工となりました。およそ1年間の工事期間を経て令和7年初旬には新しい建物で事業開始する予定です。

主な利用対象である高次脳機能障害者は、脳卒中や頭部外傷による中途障害者です。人生半ばで受ける急激な変化の中で、身体的・認知的能力の回復や維持を目指すには、精神面のケアが大切です。障害の理解や受容等はあくまで当事者個人に委ねられるべきで、周囲が押し付けるものではありません。私たちができるのは時期に合ったより良いと思われる環境を提供していくことです。そのため新しい建物内には、利用者同士やご家族・職員等が気軽に交流できるスペースを随所に設けます。その他にも、活動するスペースを従前より広くし、居室を個室化するなどゆったりと過ごせるよう設計しています。

是非、完成後に見学等にいらしてください。



縁日・スイカ割り



8月10日 夏の恒例行事 縁日を開催しました。

室内では、本物のスイカを使ったスイカ割り、屋外では水風船を使った的当てを行いました。

34℃と暑い日でしたが、水風船で涼しく感じることが出来ました。縁日後はかき氷を提供させていただきました。暑い中食べるかき氷はとても美味しく召し上がっていました。昼食では、お祭りをイメージしたメニューで「焼きそば・たこ焼き・すいか」を提供させていただきました。感を感じることのできる楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



HiBDy 運動会



10月26日 HiBDy で初の運動会を開催しました。

赤組、白組に分かれて、輪投げ、ストラックアウト、
ジャベリックスロー、フリースローの4種目の個人種目と
全員参加の玉入れを行い、合計得点を競いました。



優勝した赤組には優勝旗の授与を行いました。白組は負けて
しましたが「残念だったけど楽しかった。」と声があがりました。
全員で一丸となって楽しんでいる姿に大成功に終わることが出来ました。



HiBDy 忘年会



12月12日に今年最後の行事、忘年会を行ないました。

昼食は行事食として松花堂弁当をいただきました。午後からはパフォーマーの「アッキー」さんをお招きして、可憐なジャグリングやバルーンアートを織り交ぜたバラエティーショーを楽しみました。利用者様に参加していただく場面もありとても盛り上がりました。毎年恒例となっている利用者と職員による寸劇「HiBDy ザ・ベストテン！！」ではおなじみの番組をアレンジし会場は大盛り上がりでした。会場には利用者様に作成いただいた絵馬を展示し、とても楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。



着任の挨拶

8月に法人本部から異動ってきて、5か月が経ちました。

数年ぶりの施設勤務に懐かしさと新鮮さを感じ、日々過ごしています。

どの施設にも様々な行事がありますが、ヒブディでは、夏には縁日、

秋には運動会、年末には忘年会がありました。忘年会では「アッキー」

パフォーマンスショーや、職員による寸劇が行われ、かなりの盛り上がり

をみせていました。食事はとても豪華でした。

行事の準備は大変だと思いますが、利用者の皆様が楽しそうにされている様子に、職員も元気づけられていることと思います。

これからも利用者の皆様に喜んでいただける活動を提供できるよう努めてまいります。



浅原次長

自立訓練事業～卒業生 その後～



今年の6月に新規就労することができました。

K・M様（令和3年6月退所）

K様は令和2年6月にHiBDyに入所し、自立に向けて約1年間訓練に取り組みました。HiBDy卒業後はグループホームに入所し、1人暮らしに向けて生活の基盤を固めながら、就労を目指して就労移行支援事業所に通い2年間訓練に励まれました。ご本人の努力の結果、今年の6月に新規就労が決まり毎日お仕事に励まれています。

スタッフより

K様は日々の訓練だけでなく、日常生活含め何事にも真面目に取り組まれていました。失語症がありましたが、やり取りに困った場合でも図を描く、スマホを使うなど代償手段を活用し実用的なコミュニケーションができるようになりました。バス・電車を利用した外出も問題なく、就労に向けた土台が整いHiBDyを卒業されました。卒業生のこうした活躍はとても励みになります。今後も健康に気をつけ、自身のペースで頑張っていただければと思います。

栄養士からひとこと…

昨年も様々な食品の値上げがありましたね。食費を節約しようとすると、健康にも影響することあります。肉類や魚介類・卵・野菜の購入が減ると、たんぱく質やビタミンが少なくなり、筋肉が減ったり貧血になったりと、いつの間にか低栄養になっていた・・・ということもあります。低栄養ばかりか、安価だからとカップ麺や菓子パンが増えたり、炭水化物中心の食事を摂り続けていると、将来的に病気の引き金となり、節約していたつもりで医療費がかさんでしまった、ということにもなりかねません。

嗜好品や加工品を減らしてみたり、手作りを増やしたり、調味料の素（「〇〇の素」）や外食を減らしてみるなどはいかがでしょうか。できるところから工夫し、栄養を摂るように心がけて、今年も体調管理に気を/付けてお過ごしください。